

観光社会資本の事例

| | |
|--|--|
| テーマ | 海と憩う和歌山マリーナシティと防波堤 |
| 【施設の状況写真】 | |
|  |  |
| 市民の憩いのスポットである和歌山マリーナシティと防波堤。 | 波を防ぐだけでなく、我が国初の親水型防波堤として、ダブルデッキ型上部工を採用。 |
| 【施設の利用写真】 | |
|  |  |
| 防波堤に設けられたダブルデッキ型上部工の遊歩道。カップルや家族連れの憩いの場として利用されている。 | |
| 【観光資源としての利用状況】 | |
| <p>和歌山マリーナシティに位置する防波堤は、我が国初となるダブルデッキ型と呼ばれる親水防波堤となっており、波を防ぐ防波堤の機能以外にも複合的な効果をもたらしました。観光面としては、和歌山マリーナシティにおけるリゾート・レクリエーション基地を構成する重要な施設の一つであるため、周辺景観と調和するように工夫され、かつ一般市民が自由に出入りし安全に集い・憩い・散策できるよう遊歩道を整備し、多くの人に利用されています。</p> | |

| | |
|--|---|
| テーマ | 海と憩う和歌山マリーナシティと防波堤 |
| <p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 親水防波堤</p> <p>所在地 和歌山市毛見</p> <p>事業名 港湾整備事業</p> <p>事業主体 運輸省(現国土交通省)</p> <p>事業期間 昭和63年度～平成8年度</p> | |
| <p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>マリーナを核とした、国際的海洋性リゾート・レクリエーション拠点である「和歌山マリーナシティ」のマリーナ部と小型船・観光船等の船だまりを防護するために建設されたものであり、当防波堤により、ヨット等の小型船の安全な航行・停泊を行うことができる。</p> | |
| 【位置図】 | <p>— JR — 南海電鉄 — 高速道路 — 国道 フェリー</p> |
| <p>【関連ホームページ】 観光協会・イベント関係 http://www.marinacity.com/index.html</p> <p>防波堤関係 http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/wakayamaport/</p> | |